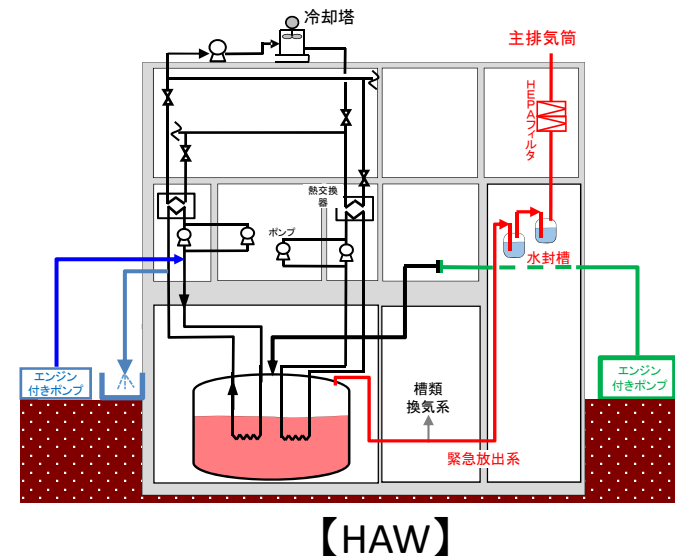
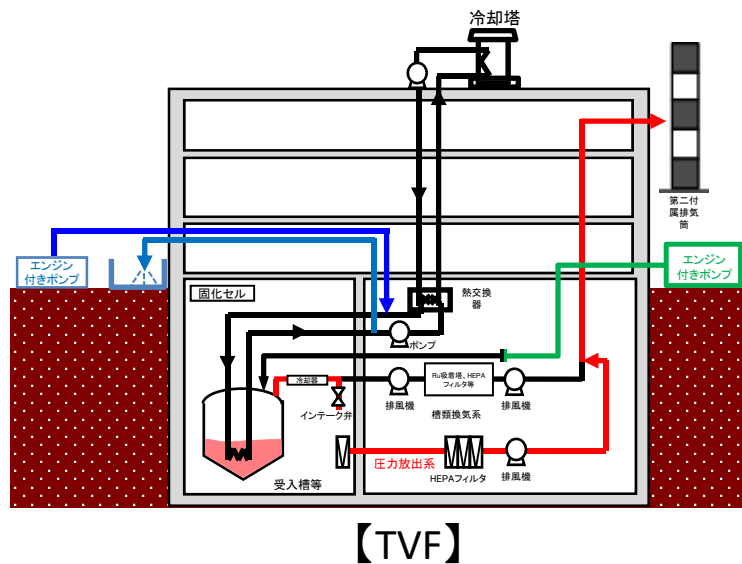




重大事故対策

令和元年12月25日
第36回東海再処理施設安全
監視チーム会合資料を一部修正

東海再処理施設の発生しうる重大事故は、高放射性廃液の蒸発乾固事象である。この事象に対する「①発生防止」、「②拡大防止」、「③影響緩和」の対策を講じる。



- HAWの冷却機能が喪失した場合においても、高放射性廃液の沸騰到達までには約2.5日の時間裕度がある。
- ① 冷却機能が喪失した場合は、事故（蒸発乾固）の発生防止策として、エンジン付きポンプから水を冷却コイルへ供給する。
- ② 発生防止策が有効でなかった場合、拡大防止策として貯槽への直接注水により、蒸発乾固を防止する。
- ③ 万一の事象発生時、高放射性廃液の蒸発蒸気は、影響緩和策として浄化機能を有する緊急放出系(HAW)及び圧力放出系(TVF)から放出される。

事故対処設備は、想定される外部事象及び内部事象の観点から、成立することを確認した